

札幌はすっかり
秋めいてきました。
今回は〈平和〉を
考えるための3冊です。

寿郎社の新刊・既刊のご案内

[社会]
9月新刊

安倍政権下で深まる近隣諸国との対立。
われわれは今、何をなすべきなのか？
広島で被爆し、十五年戦争を肌で知る
最後の世代からの全身全霊のメッセージ
玖村敦彦著

くむら・あつひこ
一九二六年生まれ。元東京大学教授。札幌在住。



日本の歩みを 強く危惧する

93歳の原爆体験者からの訴え

〔主な内容〕私の昭和二〇年八月一日とその前後／皇国史観とそれに関連するいくつつかのこ
と／岐路に立つ日本——日本会議の主張する道を進むか、それと対極的な道を進むか？／
第二次大戦後の加害責任の取り方における日・独の違い／日本が殺害した人々の追悼施設
を作ろう／沖縄の人々のことをわが身のこととして考えよう……他 四六判並製一五六頁

定価：本体一五〇〇円＋税 ISBN978-4-909281-17-3 九月下旬刊

過去に盲目なものは現在にも盲目となる……ワイッゼッカー
明治以来の膨張主義とその破綻を俯瞰する日本近代史の稀有な〈通史〉

〔改訂版〕かえりみる

日本近代史とその 負の遺産

[歴史]
既刊

玖村敦彦著

二〇一七年六月第二刷
四六判仮フランス装
二九六頁(別刷の年表付き)
ISBN978-4-902269-77-2
定価：本体二二〇〇円＋税

韓国ではなぜ慰安婦像が立てられるのか？

「慰安婦」問題の 境界を越えて

[社会]
既刊

テッサ・モーリス・スズキ、
玄武岩、植村隆著

二〇一七年七月刊
A5判(ブックレット)一〇八頁
ISBN978-4-909281-03-6
定価：本体八〇〇円＋税

連合国軍兵士が見た
戦時性暴力、
各地にできた〈少女像〉、
朝日新聞と
植村元記者への
バッシングについて

☀ 『朝日新聞』一面にサンヤツ広告を出します

(2019 9/22に東京・大阪・名古屋本社版)
9/23に北海道・九州・沖縄版)

☀ 『週刊金曜日』『世界』などにも
9~10月、広告を出します

ご注文はこちら→ 寿郎社 FAX011-708-8566

〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目37山京ビル
TEL 011-708-8565 E-mail doi@jurousha.com

キリトリ

地方・小出版流通センター 北海道教科書供給所 取扱品	版元 寿郎社	注文数	ご担当者名
書店名(番線)	新刊 日本の歩みを強く危惧する ISBN978-4-909281-17-3 定価：本体1500円＋税	冊	様
	玖村敦彦著		
	[改訂版] かえりみる日本近代史とその負の遺産 ISBN978-4-902269-77-2 定価：本体2200円＋税	冊	様
	玖村敦彦著		
	「慰安婦」問題の境界を越えて ISBN978-4-909281-03-6 定価：本体800円＋税	冊	様
	テッサ・モーリス・スズキ、 玄武岩、植村隆著(寿郎社ブックレット)		